

カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

2002年11月27日

± (プラマイ) 指値サービス開始

～ 2003年2月末まで、追加手数料半額キャンペーンを実施 ～

カブドットコム証券株式会社は、新たな条件注文として「±指値 (プラマイさしね)」による注文の受付を11月27日 (水) 開始しました。「±指値」は、始値・終値・約定価格から「プラス〇円で売り」「マイナス〇円で買い」といった注文方法です。この±指値を既存の条件注文 (逆指値、W指値、リレー注文、Uターン注文) と組み合わせることによって、仕掛けから反対売買まで利食いもロスカットも自由自在のフルオートな株式投資が日本で初めて実現します。

■追加手数料半額キャンペーン

また、±指値は通常の手数料に、現物取引の場合はプラス1000円、信用取引の場合はプラス2000円 (信用取引は「ワンウェイ手数料」で往復込みの手数料体系) となりますが、2003年2月末まではこの追加手数料を、現物取引はプラス500円、信用取引はプラス1000円の半額とするキャンペーンを実施いたします。

■±指値とは？

±指値は、「始値・終値・約定価格」といった発注時点ではまだ確定していない価格を基準とした注文が出せる条件注文です。例えば、「株価が始値+30円以上になったら→成行」という±指値で、始値が500円だった場合は「500円+30円=530円」が当日の基準となり、530円以上になれば成行注文が発注されます。当日だけの注文ではなく出合注文で継続する場合は、始値・終値は日々変化しますので、その日に約定しなければ翌日の始値+30円、翌々日の始値+30円、と自動計算された価格での設定となります。

例) ・ 始値+30円の出合注文で設定

12/2 始値500円→530円 12/3 始値490円→520円 12/4 始値515円→545円

・ 終値-20円の出合注文で設定

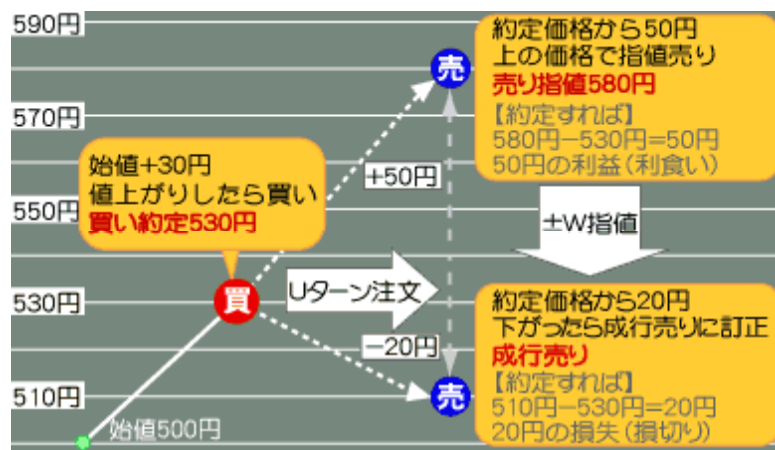
12/2 終値490円→470円 12/3 終値510円→490円 12/4 終値520円→500円

・ 約定+40円の出合注文で設定

12/2 約定500円→540円 12/3 約定500円→540円 12/4 約定500円→540円

■どんなことができるの？

例えば、信用取引で「新規買いで、始値から30円上がれば買いの±指値を3週間の出合注文で出しておき、この新規買い注文が約定したら発注するUターン注文で、返済売り注文を、約定価格+50円で売り、且つ、約定価格-20円で成行売り、のW指値注文」といったシステムチックな売買をあらかじめ設定しておくことが、日本の個人株式取引で初めて可能となります。



■時系列での取引例

<12/2 20:00> 終値490円

- (1) 株価が始値【+30】円以上になったら→成行買い [±指値]
- (2) Uターン注文で(1)の反対売買を指定する [Uターン注文]
- (3) 前提注文の約定単価【+50】円で売り [約定±W指値]
or 株価が約定単価【-20】円以下になったら→
成行に訂正

<12/3 9:00> 始値500円

- (1) 始値500円なので、500円+30円=530円以上になったら→成行

<12/4 10:00> 時価530円

- (1) 530円に達したので、成行買いを発注。530円で約定 [±指値]
- (2) 約定単価530円+50円=580円で売り注文を発注 [Uターン注文] [約定±W指値]
or 株価が約定単価530円-20円=510円以下になったら→成行に訂正

→ 利食いシナリオ

<12/3 14:00> 時価580円

- (1) 580円で売り約定成立。580円-530円=50円の利食い

→ 損切りシナリオ

<12/3 14:00> 時価510円

- (1) 580円売指値を成行に訂正。成行が510円で約定成立。510円-530円=-20円の損失

■特許出願中

カブドットコム証券ではこれまでに[条件注文に関する特許を3件出願](#)しておりますが、この±指値につきましても新たに特許を出願しました。今後とも、証券界随一の開発力を活か

し、更に便利でリスク管理など投資に役立つ条件注文等のサービス拡充に努めます。

わたしたちはMUFGです。 

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部 [8703]